



TOHSHIN DISTRICT

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区 東新部

The International Association of Y's Men's Clubs Japan East Region



2018~2019 第1号

東新部部報

2018-2019 第1号

通巻54号

2018. 7. 1 発行

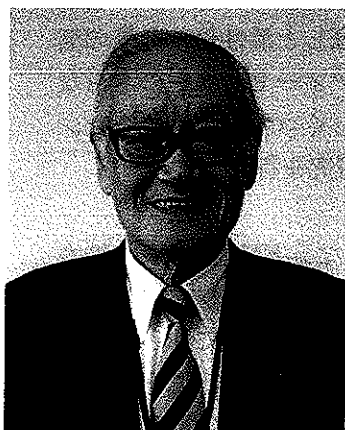
発行者：神保伊和雄

編集者：伊丹 一之

部長主題『ワイズの楽しみは、今、そしてこれから』—JOIN US!—

部長活動方針

東新部部長 神保 伊和雄 (東京むかで)



人生100年の時代を迎えるそうです。

最初のワイズメンズクラブが1920年に米国オハイオ州トレドで誕生して間もなく100年。そしてその誕生年2020年は東京オリンピック・パラリンピック大会が開催

される。若者は幻、老人は夢を追っていきましょう。

楽しくワイズライフを過ごすために何をどうする。メンバーとのふれあい・交流の時にヒントがありそうだ。じっくりと見直してみませんか。

▼ ワイズメンズクラブの楽しみは何？

それぞれのクラブの活動と共に、人と人との交流に多くの場合喜びが与えられると思います。クラブ間の交流、部内のクラブ間交流、東日本区内のクラブとの交わり、西日本区クラブとの交流が可能(DBC交流)、国際大会・IBCの取り組みが見直される時なのかもしれません。

▼ クラブの基本・原点に返ってクラブ活動の充実、楽しさの再発見を！

例会の定期開催

講師を呼んで、仲間の卓話、時と場合には合同例会もありますね！をお願いします。

ブリテンの発行

毎月の定期発行 毎月の活動報告、IBC・DBCの交流報告、メンバー旅日記等、読書感想文、俳句・川柳等、みんなで知恵自慢

仲間の確保 まずは二けた・15名は欲しいですね！

▼ ワイズの魅力(楽しみ・良さ)を見直そう

今年度の東新部部会(10月)では、クラブの実態をアピールすることを計画しました。各クラブが行っている様子を報告し合ひましょう。

YMCAとの協働プログラム、こども食堂支援、独自で行っている地域奉仕活動、地域の皆さんを巻き込んでの歌声広場、被災地の応援事業。

楽しくみんなを巻き込み、増える仲間・増やす仲間・加わりたくなるクラブの実態・活動をみんなで披露し合ひましょう。

▼ 会員を増やしましょう

東新部では、「東京コスモスクラブ」と「東京まちだクラブ」が合併し、信越妙高クラブが解散いたしました。今期の東新部は、6クラブ約90名の会員からのスタートとなります。

なおエクステンション委員会の活躍により、新クラブ設立に地道な努力が続けられております。

(仮称)町田地域クラブ・(仮称)新宿地域クラブ

『ワイズの良さを発信』しながら、新会員獲得に努めていただきたいと思います。

『今チャレンジ 明日に向かって』RBM 献金を頑張りました。蚊帳の目標達成。区を巻き込んで！

『E人になろう』新クラブのスタートがカウントダウン。エクステンション委員会の活躍。

【ワイズの楽しみは、今、そしてこれから】

じっくりとゆっくりと穏やかに、爽やかに、高齢化・老齢化を乗り切ってあゆみを進めましょう。

一年間、皆さんと足並みをそろえて一歩前進

『為せば、成る』

“ワイズが何をしてくれるかではなく、
あなたがワイズに対して何が出来
るかを考えて実行しよう”

東日本区理事

宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)



伝統ある東新部の皆様、「ワイズ
の楽しみは、今、そしてこれから」
を掲げられた神保部長の元、
躍進の1年と成ることを大いに期
待しています。

ワイズ運動はトップダウンでは
動かない—各部、各クラブの活動
が主体であることは言うまでもありません。受動的に
ワイズに期待して待つのではなく、能動的に探しに行
く、自ら求めることが肝要です。個々のクラブ、メン
バーの方にその気になって頂かなければ、ワイズ運動
の活性化はあり得ません。そこで本年度の基本方針の
1番目として「リーダーがメンバーを動かすのではな
く、メンバーが自ら動く組織に」を掲げ、具体的には
メンバーを支援して、目標達成に導く、奉仕型のリー
ダー「サーバントリーダーシップの実践」を目指しま
す。

ワイズでは、メンバーの皆様がそれぞれのキャリア
ーに裏打ちされた、それぞれの価値観を持っておられ
ます。ただ唯一共通するのは、「ワイズメンズクラブ
の理念に共感し、より良い社会にするために尽くした
い」と思っておられる方々の集まりと言うことです。
その方々の力を引出し、良い働きをしていただかな
ければなりません。その為にどうすれば良いか? 行き着
いたのが、サーバントリーダーシップと言う考え方
です。「仲間を支えるためにリーダーは存在する」が私
の考えるサーバントリーダーシップの根本的な概念で
す。

コミュニケーションや信頼関係の構築を大事にし、
皆様と共に今年1年ワイズライフをエンジョイしな
がら目標達成に向かって走りたいと思いますので、よ
ろしくお願いします。

任期が全うでき、1年間を終えた時に、メンバーの
皆様にこの1年ワイズにいて良かったと思っただけ
る事を、何よりも願っています。

中期計画最終年度

東京YMCA総主事 菅谷 淳 (東京)



日頃より東京 YMCA の使命と
理念にご賛同いただくとともに、
惜しみないご支援、ご協力を賜り
感謝申し上げます。今年度は第一
期3ヵ年中期計画の最終年度とい
うこともあり、残された各種計画
を余すところ無く実行に移すため

に以下のような年度の運営方針を策定いたしました。

1. 会員・コミュニティーの充実

会員主体による YMCA 運動に立ち返るため、新規
会員の獲得、会員活動の見直しと活性化、会員の活
躍する場としてのコミュニティーセンターのさらなる
充実を図ります。また新しくコミュニティーセン
ターを新設するための調査研究を行います。

2. 働き方改革と人材育成

さまざまな業種、職種からなる YMCA をより魅力
ある団体にするために働き方改革を進め、YMCA の
大切な財産である人材を育成するために、良質な内
外の研修を積極的に実施します。生きることの大切
さを伝える YMCA であるからこそ、まず YMCA の
職員、会員、ユースリーダーにやりがいや生きがい
をもって YMCA に関わって欲しいと願います。

3. 設備投資

老朽化している山手会館を全面的に改修し、一流
のホテル学校、高等学院に相応しい校舎、地域に開
かれ、会員が気軽に立ち寄れる新しいコミュニティー
センター作りに投資します。

4. 新規事業の開発

世田谷区に新しい認可保育園を開設し、待機児童
の多い地域の保育ニーズに応えます。YMCA の新規
事業、新規プログラムは企画開発室だけが担当する
のではなく、全職員、全会員が日常の活動の中で、「こ
んなことができないだろうか」「もっとこうなったら
いいのに」ということからヒントが生まれます。全
職員、全会員が新規事業開発者として自覚を持ち、
斬新なアイデアを積極的に形にしていければと思っ
ています。

他にも、学校事業、国際事業、野外教育事業、チ
ャイルドケア事業、アフタースクール・世代間交
流事業でも充実を図り、会員と職員が力を合わせて
YMCA の夢の実現に向けて頑張りたいと思います。
引き続きご支援・ご協力をよろしく願います。

2018-2019 東新部 部役員 クラブ役員

役職名	クラブ名	氏名	備考	
部長	東京むかで	神保伊和雄		
次期部長	東京世田谷	小川 圭一		
直前部長	東京多摩みなみ	伊藤 幾夫		
部書記	東京むかで	伊丹 一之		
部会計	東京むかで	今井 武彦		
事業主査	地域奉仕・Yサ事業主査	東京むかで	城井 廣邦	CS、ASF、YMCAサービス、FF(HIV/AIDS)
	会員増強事業主査	東京世田谷	村野 繁	EMC、広報PR
	国際・交流事業主査	東京	比奈地康晴	BF、EF、TOF、IBC/DBC、UGP、YES、JEF
	ユース事業主査	東京町田コスモス	松香 光夫	YEOP、STEP、YIA、YVLF
部選出代議員	東京多摩みなみ	伊藤 幾夫	人数割り代議員、直前部長が就任(重複)	
部大会実行委員長	東京町田コスモス	松香 光夫	(重複)	
部大会準備委員長	東京センテニアル		2018-2019 第1回評議会で選任	
専任委員	部ヒストリアン	東京むかで	櫻井 浩行	
	部ウェブマスター	東京	長澤 山泰	
	部メネット連絡員	東京	菅谷 一江	
	部LT委員長	東京	長澤 弘	
エクステンション委員長	東京世田谷	太田 勝人	2017-2018年度より設置	
部監事	東京	佐藤 茂美	部選出監事	
	東京	細川 剛	前期の直前部長が就任	
部担当主事	東京むかで	星野 太郎	部長輩出クラブの担当主事	

クラブ名	役職名	氏名	備考
東京ワイズメンズクラブ	会長	長澤 弘	議決権者(重複)
	副会長	加藤 義孝	
	直前会長	木村 光晴	
	書記	進藤 重光	議決権者
	会計	迫川 由和	議決権者
東京むかでワイズメンズクラブ	会長	城井 廣邦	議決権者(重複)
	副会長	櫻井 浩行	
	直前会長	森本 晴生	
	書記	鈴木 健彦	議決権者
	会計	今井 武彦	議決権者(重複)
東京世田谷ワイズメンズクラブ	会長	朝倉 正昭	議決権者
	副会長	寺門 文雄	
	直前会長	寺門 文雄	
	書記	太田 勝人	議決権者(重複)
	会計	小原 武夫	議決権者
東京町田コスモスワイズメンズクラブ	会長	松香 光夫	議決権者(重複)
	副会長	今村 路加	
	直前会長	権藤 徳彦	
	書記	権藤 徳彦	議決権者
	会計	中移 庸介	議決権者
東京センテニアルYサービスクラブ	会長	徐 鍾 煥	議決権者
	副会長	—	
	直前会長	申 鉉 錫	
	書記	田附 和久	議決権者
	会計	中川 直美	議決権者
東京多摩みなみワイズメンズクラブ	会長	深尾 香子	議決権者
	副会長	伊藤 幾夫	
	副会長	真藤 広子	
	直前会長	石田 孝次	
	書記	小早川 浩彦	議決権者
	副書記	田中 博之	
	会計	綿引 康司	議決権者

輪番制トロイカ方式により

次期部長 小川 圭一 (東京世田谷)



阪神淡路大震災の年に「神戸を忘れない」というスローガンに共鳴してクラブに入会しました。時のクラブ会長は小原武夫さんで、私が主催するチャリティコンサートを本気で応援して下さいました。

クラブ会長を延べ4期、東新部長、東日本区の主査などもさせていただきました。すべて、東京世田谷クラブの応援の賜物です。なかでも東日本区沖縄大会での東日本区書記の経験は、ワイズライフの極めつけでした。小原理事のもと、沖縄でのワイズソングは忘れられません。

一方世田谷クラブでは、小山正直さん(東京町田クラブ)の福祉施設で5年ほど行った音楽ボランティアを、世田谷で展開するべく、YMCAすずらん会を立ち上げました。東京YMCA南センターを起点に、下北沢や三軒茶屋でも定例活動として定着しました。さらに、横浜戸塚、厚木、浦和、永福町、東陽町、山手などにも歌声の輪が広がりました。

そして、東日本大震災を機に、石巻へも出かけていくことが出来ました。地域の社会福祉協議会や教会との連携が、大きな力になったと考えています。

今年度、神保部長の東京むかでクラブは、世田谷と同じ年にチャーターしたクラブで、YMCAのキャンプを起点にしています。少子高齢化の時代、家族や社会のありようが問われている今日にあって、キャンプ体験は人間の健全な成長を促す素晴らしいプログラム。

そんな神保部長のリーダーシップを見習いながら、次期の構想を考えてまいります。みなさまも、クラブライフをご一緒に楽しんで参りましょう。

追伸 阪神淡路大震災の年に明治学院東村山高等学校のPTA会長だった私は、被災地に入れないもどかしさを、300万円の献金で現した高校生に心打たれました。ボランティア精神を養ったキリスト教の教育の素晴らしさを思いました。それで、生涯YMCAのPTAでありたいと願ったのです。ワイズメンズクラブのメンバーとして、小さくとも愛と平和を作るあゆみを続けたいものです。2019年は亥年の72歳です。

E人を続けたい!

直前部長 伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)



7月1日、新年度がスタートし、神保伊和雄部長にバトンタッチできました。昨年度、私はとくにEMCを重点課題と考え、「E人になろう!」を主題として1年間活動してきました。エクステンション委員会の発足、町田地域新クラブの準備、4部

(東新部、関東東部、あずさ部、湘南・沖縄部)合同EMCシンポジウム、各クラブのオリジナル・リーフレット作成の推進など、EMCに関する活動があげられます。各クラブの会員増強の取り組みにも感謝いたします。新入会が3名ありました。7月、東京世田谷クラブの佐藤百合子さん、2月、東京センテニアルYサービスクラブの郭恩珠さん、5月、東京むかでクラブの新藤真知さんです。

ワイズが東西に分かれた1997年の東新部の会員数は179名でした。20年経過した2017年には90名に半減しました。このことは、きわめて深刻な状況だと思います。また、昨年度8クラブでスタートしましたが、年度末に6クラブに減少してしまったことも衝撃です(信越妙高クラブが解散、東京まちだクラブと東京コスモスクラブが合併して、東京町田コスモスクラブとしてリスタート)。これらの原因にはさまざまな要因が考えられますが、いずれのクラブにも高齢化と減少化がリンクしていることは明らかだと思います。

新年度も神保部長のもと、各クラブそして各クラブの会員一人ひとりがこの状況を共有し、改善の方策を考えていきましょう。

新しい会員を迎えるためには、私たちワイズの意識も変えていくことが必要だと思います。ワイズにとって、変えていくべきこと、変えてはいけないことを吟味し、変えるべきところは大胆に変えていく勇気を持ち、実践していきましょう

町田地域新クラブの立ち上げが、神保部長年度に継続されました。2年がかりの新クラブ作りになりますが、是が非でも設立に漕ぎ着けましょう。神保年度でも、みなさんに「E人を続けて」ほしいと願います。

うれしいことに、新年度早々に、東京センテニアルクラブや東京むかでクラブで新入会式が行われそうです。また、部内エクステンションでも、町田地域のほかに、新宿(早稲田)地域に新クラブの可能性が見られます。個々のクラブが会員増強を目指すとともに、新クラブ作り、東新部をあげて、取り組んでいきましょう。神保部長年度に期待します。

1年間ご協力ありがとうございました。

書記としてお願いは「期日厳守」

書記 伊丹 一之 (東京むかで)



ワイズメンズクラブに 1975 年に入会以来、日本区だった 83-84 年度の真田慎一北東部部長時代をかわきりに、阿山剛男・森本晴生部長、東日本区・東新部になってからは櫻井浩行・長谷川正雄・神保伊和雄部長と、何と 6 度目の部

書記を務めることになりました。よろしく願いいたします。

部書記の役割は実にたくさんあります。担当年度が始まる 2 カ月も前から、次期クラブ役員研修会のための資料作り。そして、大物はこの部報の原稿集め・編集・印刷・発行があります。年度が始まる直前からは、部役員会、評議会の案内・出欠集計・会議資料集め・資料編集・印刷、当日の司会・記録、終了後には議事録作りが待っています。

年度内には、役員会と評議会が 3 回あります。その都度、ご案内・資料請求・出欠確認をいたしますので、クラブ会長の皆様、部役員の皆様、期限を守っての対応をよろしく願いいたします。また、部報については、最近では年 2 回の発行となっていますが、第 2 号は担当年度が終了後に原稿を依頼し、編集・発行となります。今期が終了後も、気を抜くことなく対応をよろしく願いいたします。

前回の長谷川部長の時も、今回の神保部長の時も、私の前任者は田中博之さんでした。田中さんは、東新部のマニュアルに則り、部の運営のお手本のような働きをされました。その財産を CD-R に焼いて引き継いでくださることになっています。私は部書記として、田中直前書記の遺産を活用させていただき、期が終わるときには、伊丹書記ファイルを加えたものを、次期書記に引き継ごうと思っております。

今期の部長主題は「ワイズの楽しみは、今、これからも」ですが、これが「ワイズの苦しみは、今も、これからも」にならないように、部書記として、様々なお願いをするときには、出来るだけ負担を軽くするような方法を取ろうと思っています。ですから、お願いされた皆様は、「期日厳守」だけはとにかく守っていただきたいと思ひます。

一年間、どうぞよろしく願いいたします。

期限厳守のお願い

会計 今井 武彦 (東京むかで)



2018~2019 年度の東新部は大きく変わろうとする年です。この変化のときに、部の会計を担当することに緊張しております。どうぞ各クラブの方々におきましては、ご協力をお願いいたします。

具体的には、以下の点でご協力お願いいたします。

1. 部費等の年会費払込み期限の厳守をお願いいたします。

部費等の年会費払込み期日は、8月31日(金)

年会費の内訳は、一人当たり：

部費 3,600 円、CS 資金 1,250 円、ASF 資金 250 円の一人当たり合計 5,100 円、

さらにクラブ単位でリーダーズフォーラム負担金 10,000 円をお願いしています。

なお、部費等算定根拠となる会員数は、前期半年報会員数(ただし、担当主事を除き、広義・功労会員数を含んだ人数)で請求させていただきます。

2. 各種自由献金の納付について

各種自由献金は、前年度同様に東新部を經由して東日本区へ送金します。従って、各クラブからの各種自由献金が期限までに東新部口座宛入金されないと、東日本区への送金もできません。一つのクラブの送金の遅れは、東新部全体の迷惑となります。

自由献金の納付期限：2019年2月12日(火)

自由献金「送金献金額内訳明細報告」報告期限：

2019年2月15日(金)

です。

なお、自由献金目標額算定に当たっては、会員数には担当主事を含み、広義・功労・シニア会員を含みません。

(部費等の対象会員数とは異なりますのでご注意願ひます。)

地域奉仕・Yサ事業の新時代をめざして

地域奉仕・Yサ事業主査 城井 廣邦 (東京むかで)



新年度に当たって、新たな任務に新たな責任を感じています。東新部として各クラブを取材し、取り上げ、多くの方々に認知していただき、共感されるワイズメンズクラブの意義ある活動へ認知拡大への努力をして行くつもりです。

各クラブが地域奉仕、Yサ事業を通して伝えるべきコンセプトを明確にしてウェブマスターとの連動やニュースを発行して関係各位に伝えることが大切な事と考えています。各クラブが互いに認知することで協力関係につながり、参加につながるなど効果を期待します。そして、各クラブの活動の魅力が伝わる事で一般の方々にまでつながり、参加を誘引し共感に至る事が出来れば、各ワイズメンズクラブへの関心を生み、入会へのきっかけづくりになればと思います。

これからの課題は、人口減少と高齢化の現実が私達ワイズメンズクラブにも当然のコトとして影響を生むと考えます。そうした未来に起こるべき状況を推察し、一般の方々にワイズメンズクラブの活動に参加していただき共感され、入会者を増やす事につなげることで。まず各クラブがどの様な理念でプログラムを実行しているかを認知し、互いに理解しあって支える関係を生みたいと思います。言うなれば東新部ワイズメンズクラブの新たなブランディングプロモーション計画といっても良いと思います。各クラブの皆様との連動を計り、村野会員増強事業主査と共に入会者を増やすための活動を推進してまいりたいと考えます。そして、長澤ウェブマスターと連動し、コミュニケーションの効率を高め、社会とつながり、人に広がる新たな魅力を社会にアピールしたいと思います。

東新部から新しい時代の魅力あふれるワイズメンズクラブへ進化を始めます。時代を豊かな時とするためにワイズを越え、つながり、共に新しい流れを作りたいと思います。結果として時代を変えることにつながるかも知れません。ワイズからはじまる未来に必要なとされるクラブ活動へ。東新部、各クラブの皆様と共に一体になりたいと思います。そして、新たな道を築き、未来に続く次世代のワイズへ引き渡したいと思います。2018年からはじまる神保東新部が未来への一歩となることを願います。

2018-2019年度東新部会員増強事業方針

会員増強事業主査 村野 繁 (東京世田谷)

事業方針



2018年2月17日に4部合同EMCシンポジウムで明らかになった、ワイズ活動が内向きだったことをふまえて、ワイズも社会の一員である認識を持って、外に向けたPR活動として、地域奉仕活

動を積極的に進めましょう。

事業目標

1. Extension : エクステンション委員会に期待します。
2. Membership : インビテーション・キャンペーンの実施。
3. Conservation : 新入会員の定着率を上げる。

活動計画

1. Extension : エクステンション委員会とスポンサークラブが連携して推進してもらう。
2. Membership : クラブ紹介パンフレットの作成と活用、会員勧誘の一助にする。
・1つ以上の地域奉仕活動を推進、アピールする。
3. Conservation : ワイズは国際協会会員であることを認識し、地域大会、国際大会に出席、参加し、他国ワイズメンとの交流を楽しむ。

EMCシンポジウム (2019年2月16日(土)) 都内にクラブのある4部合同開催は継承する。

各クラブの会員数の推移を確認して、地域奉仕活動事業の成果を地域奉仕・Yサ事業主査城井廣邦ワイズと協働で確認したい。



【EMCシンポジウムの様子 (2018.2.17 山手センター)】

IBC・DBCの充実を！

国際・交流事業主査 比奈地 康晴（東京）



神保東新部部長は、その活動計画における重点的取り組み課題として、私の担当させていただく、「国際・交流事業」については、部内各クラブにおける、「IBC・DBCの促進と充実」を掲げております。

この為、事業主査としましても、各クラブに於かれましては、現在のIBC・DBCについて、現状のご確認とその評価をお進めいただくよう、よろしくお願いいたします。その評価に基づいて、もし改善策が必要とされ、東新部（さらに東日本区）としての協力・支援も要請されるものがありましたら、ご提言いただくように、よろしくお願いいたします。また、未だIBC・DBCの交流実績をお持ちでないクラブに於きましては、慎重なご検討をお願いしますが、より積極的にその締結の実現に動きだされるように奨励させていただきます。

さらに、IBC・DBCを含む、当該国際・交流事業の対象とされる各種献金の増進、その強調月間の実施へのご努力をお願いいたします。その中でも国際的なUGP（ワイズ認知度アップ事業）とされており、RBM（ロールバックマラリア）事業は、ワイズ以外の団体との協働事業も進められておりますので、継続のご協力をよろしくお願いいたします。また、BFにつきましては、使用済み切手の収集等による資金協力もお願いしておりますので、今期も全ての部内各クラブからの積極のご対応をよろしくお願いいたします。

最後に、各クラブからのご要望にも可能な限り対応していきたいと思っておりますので、この点もよろしくお願いいたしますと思います。



ユース事業の支援と取り込み

ユース事業主査 松香 光夫（東京町田コスモス）



メンバーの高齢化を日々感じるクラブにとって、ユースとの交流は大きな刺激となります。もともと私たちはワイズダムの次代を担う青年と連帯し、彼らの活動を支援するために YIA（Youth Involvement and Activities）事業

を持っています。東日本区ではユース事業委員会を組織してこの事業を進めていますから、東新部各クラブとしても、これと協働して活動を進めるのが得策と言えるでしょう。昨年部大会では、桜美林大学の学生を招いてポッチャ（パラリンピック種目）の指導を組み込み、事業助成金を得たのも良い例と言えます。

この夏には韓国・麗水で IYC（International Youth Convocation）があり、ユースの参加を支援していますから、彼らの帰国報告を例会卓話に依頼するのも若い感性を生かすこととなります。来年は（鬼が笑うかも知れませんが）アジア太平洋地域の大会が仙台でありますから、またとない機会としてお世話を買って出ませんか。

9月には YVLF（ユースボランティア・リーダーズフォーラム）があって、全国からのユースリーダーが集まって研修を行います。昨年参加した私の経験でも、傍で見ていただけでも彼らの成長を感じ、刺激になりました。短期間（例えば1日）でも同行を経験されることをお勧めします。

もう一つユニークな機会は、高校生から若い社会人を対象に、社会における課題あるいは話題を取り上げて互いに議論する研修、OFY（オープン・フォーラム・Y）を挙げておきましょう。5月頃に行われますので、情報に気をつけていて下さい。

このようにして、若者の活動に直接飛び込んだり、日常の活動（例会など）に、学生 YMCA や青年会員を招くなどの経験を積むようにして、成功例の情報を交換し、ユース事業に対する関心を高く保っていただくことを期待します。

【世界マラリアデーイベント（2018.4.25 上智大学）にワイズメンズクラブ東・西日本区が後援、ワイズメンが集った】

歴史家として最後のお勤め

歴史家 櫻井 浩行 (東京むかで)



前期に続き、東新部歴史家を拝命しました。東新部部則施行細則に専任委員の任期は、「その専門職の特性として3年間とするが再任は妨げない」と定められています。部歴史家の職務は、東新部の部報、部長通信、部評議会資料、部内のクラブの記念誌などを部の資料として整理・保管すること。

2009～10年度東新部初代歴史家から2012～13年度の4年間と、2016～17年度より今年度末の3年間の在籍となります。今年6月に82歳となり今期末にてお役を降りることになりました。任期中に集めた資料の整理中につき、不足分が出ましたらお知らせいたしますので、資料提供にご協力ください。

1997～98年度東新部次期部長より今期末までの足掛け22年間、東日本区および東新部の役員を続けてきましたが、高齢のため「東京むかでクラブ」の功労会員となり、伊豆・下田にて隠居生活に入ることになりました。東新部最後のお役にあと一年間は「ガンバル」積りですので宜しくお願いいたします。

HP & MLを活用しましょう！

ウェブマスター 長澤 山泰 (東京)



■ HP (ホームページ)
部会、評議会等各行事内容&写真掲載を始め、各クラブのブリテンが発行されるとブリテンリンク先一覧に追加しています。また運営マニュアル、規則、CS 支援金申請書などの各種フォームにも対応しており、便利なサイト構成になっています。

■ ML (メーリングリスト)

新年度入りの7月1日前後に更新を行います。

- ◆ 部常任役員: bu2018ysjonin@jep.org
(送信先: 部長・書記・会計・直前部長・次期部長)
- ◆ 部役員: bu2018ysyakuin@jep.org
(送信先: 部長・書記・会計・直前部長・次期部長・地域奉仕事業主査・会員増強事業主査・国際交流事業主査・ユース事業主査・部担当主事・部会実行委員長・部選出代議員・部ウェブマスター・部歴史家・部LT委員長・部メネット委員・部監事)
- ◆ クラブ会長: bu2018yskaicho@jep.org
(送信先: 部役員及びクラブ会長)

HP と部内メーリングリストの活用を是非ともお願いいたします。

楽しいことが第一

メネット連絡員 菅谷 一江 (東京)



東京クラブのメネット会長になりました。まだ右も左もわからず、いたらないこともあると思いますが、皆さんのバックアップを期待しています。活動は東新部部長主題・方針に従って、メネットができることを考え実行して行きたい

と思います。

私は根っから楽しいことが大好きです。その楽しいことが人の役に立つならなおさらです。メネットの人数も少なくなっているのが現状ですが、一人で家にも退屈なだけです。限られた人生誰かのために楽しく活動できるよう、工夫していきたく思います。YMCA への絵本寄贈の資金づくりで、手作りケーキの販売やバザーなどへの参加、そのためにまず東日本区ワイズメネットのつどい、ワイズメネットアワーへ出席を促し、メネット活動の楽しさを伝えられたらと思います。「楽しいことが第一」です。皆様のご協力をよろしくお願いします。

LT委員長3年目の弁

LT委員長 長澤 弘 (東京)



部 LT 委員長を仰せつかって3年目となりました。昨年度は部長経験者であるベテラン LT 委員の方々の知恵と力を借りて部則・マニュアル集の改訂と EMC シンポジウムの実施など、何とか任務を果たすことが出来ました。今年度

も定例的な次期部役員準備会、次期クラブ役員研修会、中間運営引き継ぎ会議は実施します。また EMC シンポジウムについては部長、委員の方々と協議の上、必要あれば実施する所存です。

ところで、どこのクラブも高齢化と会員数減少でクラブ運営に苦勞しているようです。また東新部のクラブ数も6クラブに減りましたが、東新部部長や部役員を出すことのできるクラブが、東京、東京むかで、東京世田谷、東京多摩みなみの4クラブに限定されてしまいました。LT の次の課題はすべてのクラブが部長や部役員を担当し、運営する本来の姿に戻し、またクラブ運営についても一緒になって課題解決を検討することではないかと考えています。

2018-2019 年度 東新部部大会

部大会実行委員長 松香 光夫 (東京町田コスモス)



部大会実行委員長をお引き受けしていますが、実際にはクラブの実力が伴わず、東京むかでクラブの皆さんのご指導・ご協力を仰いでいます。賑やかに大勢のご参加をお願いします。

今年の部大会では、それぞれのクラブがクラブ会員を増やすために、各クラブで実行しているいくつかのプログラムを取りあげ、10分ほどでわかりやすくアピールしていただくことをテーマにします。特徴の説明に終わらず、一般の方々の共感を得られる工夫を示して、お互いに参考にし、部分的には取り入れたいようなアピールをお願いします。

【例】先行する東京むかでクラブでは、シニアキャンプ・プログラムなどをタネに、VTR 映像や体験していただけるアピールを用意しているそうです。それぞれの特徴を示し、エクステンション活動の工夫を共有して、盛り上げられるような工夫を期待します。

ひとりがよくなると世界は変わる

部担当主事 星野 太郎 (東京むかで)



YMCA ブランドブックにはこう記されています。

ひとりが「よくなる」と、その人と出会った誰かがうれしくなる。つまり、その人もきっと「よくなる」。そして「よくなる」の繰り返しは社会や世界をよりよく変えて

いくチカラになる・・・。

これはワイズの働きにもあてはまることではないでしょうか。ワイズの働きを通して誰かとつながり、YMCA とつながり、世界とつながり、一人ひとりがよくされていく体験、これはワイズでも実感するところだと思います。

「よくなる」体験を実感する私たち一人ひとりが、それをとなりの一人に広げていく。その試みの連鎖が「ポジティブネットのある豊かな社会の創造」に広がっていくのだと思います。このビジョンをワイズの皆さんと共有しつつ、東新部の歩みを共に進められたらと思います。どうぞよろしくをお願いします。

ワイズ活動に愛着を

監事 佐藤 茂美 (東京)



部の監事就任は4度目となりました。今年度も、どうぞよろしく。

青年期にキャンプが好きで YMCA で育ち、良き友人たち、仲間を持っている部長に期待します。

東新部のクラブは6クラブとなりました。それぞれに素晴らしい

目的をもって日夜活動を続けていることをうれしく思います。心を引き締め YMCA の新しいロゴを広めて行きましょう。町田地区に新クラブ誕生の動きがあります。東京の神田にあった頃の YMCA の沢山の宝を思い出しました。国際関係、野外活動、キャンプ、災害支援活動など、子どもから大人まで、生涯を通して成長していく場所であり、私も学生時代から愛着を持ち続けています。時の流れで代替わりとなりましたが、やはり、都心部に YMCA や新しいワイズの拠点が良いですね。とりあえず社会の青年、熟年層の成り行きですが、厳しいでしょうか。実現を叶わぬ望みと諦めずに祈っていきましょう。

交流の活性化

監事 細川 剛 (東京)



今期は部の監事となりますので、皆様には部の事業が、そして各クラブの活動が活性化するようにご精励頂ければと願っております。

小生としましても減少傾向にある東新部を、神保部長を中心として皆様と伴に支えあい、語り合い、

監事としての役務を遂行して行きたいと思っております。

高齢化してきたとはいえ、部内各クラブは素晴らしい人々の集まりです。クラブ内や部内に留まらず、これまで以上に外に向かっても、おおいに語り合い、協働し、有意義な活動を行うことで減少傾向に歯止めをかけたいと願っております。

東京クラブ会長として

東京ワイズメンズクラブ会長 長澤 弘



東京クラブ会長となりました長澤弘でございます。よろしく願いいたします。

東京クラブは 87 年の伝統がありますが、今そのサステイナビリティ（持続的な発展）は危機的な状態にあります。今まで会長就

任は 1 回限りの伝統を守ってきましたが、今回それを守り続けることができず、自身が老齢化していることを顧みず 2 度目の会長を引き受けることとなりました。もう少し前向きの方針を申し上げるべきなのですが、今年度は危機管理キャビネットと位置づけ、会長方針を「維持っぱりで行こう」としました。東京クラブは功労会員と休会者を除くと 25 名でスタートとなっていました。そのうち後期高齢者が半分以上の 13 名です。このままでは 5 年もたてば限界的なクラブとなってしまいます。今のうちにクラブ存続を賭けて全員参加で会員増強・クラブ活動の活性化を図らなければならないと考えております。ただ何人会員を増強しなければならないという掛け声や、結果として達成できないようなお題目を掲げるだけではなく、具体的、かつ出来ることに知恵を絞り、実行することが重要と思えます。

まずとにかく年寄りも全員参加で頑張ることが重要だと強く訴えます。次に会員一人ひとりが 1 名の入会ターゲットを持ち、毎月の例会に案内チラシを作成して、知人友人インビテーションを行うことを考えます。また厳しい財政状況ではありますが、クラブ運営に中心的な活動をする会員への支援や新入会員の会費の減額など、予算の弾力的な運用も考えます。さらに YMCA と協力した CS 事業も、新しい事業を再構築しなければならないと考えております。そしてワイズはもちろん社会奉仕クラブではありますが、同等の比重で交流・親睦の団体であることも明言したいと思えます。もう一つ、YMCA との関係も相互の協力関係を強化する、具体的には入会者に YMCA の力を借りることも重要だと考えます。

クラブ内の内輪の問題や、後ろ向きなことばかりを言い立てて恐縮ですが、抱えている課題が重すぎて他に頭が回りません。ただ東新部各クラブ同じ問題をかかえているものと推察します。どうか一緒になって考え、知恵を貸していただきたくお願いする次第です。

東京むかでワイズの入会促進計画

東京むかでワイズメンズクラブ会長 城井 廣邦



新たな東京むかでワイズメンズクラブになるために挑戦を続けた一年でした。会員を増やすためには楽しいプログラムと一緒に過ごし、私達の活動の考え方に共感していただくことを大切と考えました。例会の卓話者に一流のアーテ

ィストや戦略家を選び、社会を動かしている人たちの考え方を学び、これからの新しいを生むヒントを掴みたいと思いました。視界を広く、高くする事で発想を変えることが可能になりました。

大きなテーマとして人生 100 歳時代は私達のすぐそこまで来ている未来です。シニアは老後ではなく新たな時を楽しむことが出来るコトを示し、実感してもらうことでした。ワイズ以外の友人や仕事仲間に「それは面白い」と言っていただけでした。今年 5 月 12 日～15 日まで開催した「シニア Y・Y・Y キャンプ」は、シニアでも十分に楽しめる配慮と新しい自分の才能を発見してもらえるキャンプにしたいと考えました。これからの人生を楽しむチャンスになればとコンセプトを決めました。昼間はフリーチョイスプログラムで新しい才能を発見していただく内容です。書アート、野草生け花アート、野点、写真撮影、スケッチの描き方や自主的に俳句教室が開催されました。将棋やチェスも興味深く教えてもらいながら対戦していました。桜美林大学の協力での「ボッチャ」体験や、「松ぼっくりフライングゲーム」もとっても盛りあがる機会になり、皆が一体となることが出来ました。夜は落語、カントリーウエスタンや JAZZ のコンサート、こだわりの談話タイムでは、大人の時間とコミュニケーションの機会となり、楽しい時を過ごせるキャンプとなりました。シニア Y・Y・Y キャンプで入会式を開催する事が出来たのも大きな成果です。

妙高高原ロッジさよならパーティの機会に、東京世田谷クラブ朝倉ワイズとの共同開催でシニアスキーキャンプを開催して、楽しい機会が持てました。また、社会課題にもなっている子どもへの支援として「川口こども食堂」を月に一回参加、支援を続けています。又、ユースとの連動を図り、ユース卒業生の入会促進に繋がりたいと考えています

潜在しているニーズを顕在化しよう

東京世田谷ワイズメンズクラブ会長 朝倉 正昭



2018-2019年度の次期会長を仰せつかり、小生が入会以来感じている事を、述べさせていただきます。

新人研修会、次期役員研修会などの諸会合を通じて、YMCA、ワイズメンズクラブの会員数が長期間にわたって、遞減傾向にある事、会員数の増強は、ワイズメンズクラブにとって、喫緊の課題であるという事が再三述べられております。またそれへの対応として区、部、各クラブ単位でEMC増強委員会の設置等で、行動が起こされております。

会員数減少の大きな原因として少子高齢化があげられています。確かに、日本のみならず、先進国では、社会的な大問題になっています。然し乍ら、そもそものYMCA及びワイズメンズクラブの成り立ちを見れば、その背景に、当時も現在と同様な、社会的階層格差、所得格差があり、それをキリスト者の精神で、救済しようと試みたのが、YMCAのそもそもの始まりだったのではないのでしょうか。今各クラブが実施しているCS活動は、その時代と同様に、現在の顕在化したニーズを満たす活動であると思います。

皆さんも同意されると思いますが、世の中は激変のまっただなかにあります。今の社会の変化の過程には、その当時とは異なる、大きな潜在的なニーズが存在していると思います。断片的には、それらへの対応は、我々の歌声広場や、子ども食堂等々が実施されていて、日に日に日本の各地に広がっているように感じます。各地域で事情が異なり、したがって個別のニーズが異なるので、各クラブで、対応に違いがあるのは当然です。まだ我々がつかんでいない、潜在的なニーズを拾い上げて、ワイズメンズクラブとして活動の輪を広げていくことによって、ワイズメンズクラブの存在価値が高まることになり、結果としてメンバーの達成感が上がり、会員数も増えるのではないのでしょうか？

YMCAとワイズメンズクラブは正に車の両輪です。ワイズメンズクラブには、YMCAをサポートするという崇高な使命があります。車が別々に動くのではなく、同軸で、同方向に動かなければならない事は言うまでもありません。YMCAとワイズメンズクラブが地域活動を通じて、共通の目標を達成できると信じています。

コスモスはどのように咲くのか

東京町田コスモスワイズメンズクラブ会長 松香 光夫



私ども東京コスモスクラブは、1996年に親クラブである東京まちだクラブから派生独立して活動して来ました。近年親クラブのメンバーの少数化と高齢化が進み、クラブの活動に支障が感じられる状況が生じ、折々に合同で例会を

持つ頻度も高まるようになりました。そのような中で、まちだクラブメンバーから、合同・合併して一緒に活動しようという申し入れがあり、これを受けて新クラブ、「東京町田コスモス」を立ち上げることになりました。どうぞよろしくお願ひします。

一方で、これまで二つのクラブが支えてきた、東京町田YMCAの活動を盛んにするために、町田地域に新しいワイズメンズクラブを設立しようという運動を起こしていますから、それが実ったときには、これまでと同様に二つのクラブが一つの拠点を支えていくこととなります。そこで、私たちの「町田コスモスクラブ」がどのような花を咲かせ、実を付けていくことになるのかを意識しようというので、標記の投げかけ(会長主題)になります。

私どものコスモスは、バナーに示されているように一般に見られる白やピンクの花と異なり、町田にある玉川大学で育成された新品種・イエローキャンパスの色を取って黄色い花を特色としています。その特長が、どういう意味を持っているのか、あるいは持つべきものなのか、物理化学的な色合いにとどまらず、ワイズメンの活動として特色が出せるのかを、求めていきたいと思うのです。地域にもう一つのワイズメンズクラブが出来たあかつきには、ともに協働してそれぞれの特色を生かしながら地域コミュニティへのサービスを見えるようにしたいものです。

そのためには、私たち自身の持っている力が何なのか、それを発揮する条件も意識しながら、研鑽と模索を積みあげて行きたいものです。

【バナーの黄色いコスモス】



我々はどこへ向かって進むべきか

東京センテニアルYサービスクラブ会長 徐 鍾 煥



再度クラブ会長を引き受けるにあたり、一言私の考えを伝えます。

私たち人間は自然界に生きており、先人達の英知により、多くの発想で進化してきました。同時に他の生物も遅い進歩ながら生き長らえております。近年人間は傲り、

自然界の覇者のごとくふるまっておりますが、はたしてそうなのでしょか。過信の毎日を、便利で合理的な生活であると錯覚しているのではないのでしょうか。

「我々は何者であるか」、「我々はどこへ向かって生きてゆくのか」という問いにも、都合良い理屈を考え、日常生活をしております。「差別」の問題も意識しながら、根本の解決を避けているようにみえます。それは日常生活のあらゆる処にあります。健康、生活、社会を考えたとき、我々は迷っています。ある「ワク」に入っていれば、安全安心という考えです。もっと幅のある日常で、人間一人一人が他者の言葉を聴き、自分の生き方を考える。だからといって他を傷付けてはなりません。人間の個性を大事に協調、尊重し、弱者には「愛しみ」を持って生きる。

私は、昨年より「在日」としての生き方を考えています。この日本の地で日常生活しているのに、心の中ではハッキリした信念がなかったと反省しております。私にはどんな生き方が出来るのか？ 私は朝鮮民族の血を受け、日本で生まれた在日二世の一人として東京の下町で生きております。この地域の一員として是々非々をはっきりし、他の人に干渉せず、歴史の事柄をはっきり視覚し、判断し、誤った事柄には意見し、時には勇気を持って「赦す」ことも必要です。そして、私は考え、「国籍」「民族」「時間」を越えた中で生きる。

会長の役割がどこまで達成できるか未知数ですが、努力は惜しみません。在日本韓国 YMCA も、百年超の歴史を有し、2019年には2・8独立宣言百周年を迎えます。少しでも役立つように、また他クラブと協調し、できる限りの奉仕をしていきます。幸い前会長の尽力で会員も増え、新しい姿の東京センテニアルとして出発いたします。Y's menの皆様のご協力、ご助言をお願いいたします。

2本の柱をひとつに。

東京多摩みなみワイズメンズクラブ会長 深尾 香子



わがクラブは、我々が石田会長が2年間の勤めを終えられて、初めて“クラブ会長が変わる”という、一大イベントを迎えようとしています。

しかし、人の入れ替わりがあろうとも、我がクラブのめざすところ

ろに変わりはありません。準備会の頃から、第一に「子ども」、そしてこの地域の喫緊の課題として「高齢者」にも目を向けよう、と我々は声を揚げました。

東京都下、昭和70年代の高度経済成長期、高らかに「ニュータウン」と名乗ったこのエリアは、今や逆ピラミッド型の人口分布を描き、多くの問題を抱えています。とはいうものの、その子ども世代が、車と人が安全に行き来出来るよう造られた町並みや、豊かな緑に魅力を感じ、彼らの子育ての場所と定めてUターンする、あるいは全く縁は無いけれども、この環境を良しとして移り住む人たちが少しずつ増えています。

当時は、どこを見ても同じように子育て中の人々だけで構成されていた街。今それと違うのは、若い人たちのすぐ隣に、高齢者のみの世帯や、独居の人々が大量にいることです。この人たちが、親の近くに住み、実際に手をかけ、時間を費やし、あるいは介護保険料(40歳から支払い義務あり)という制度の下で、望むと望まないに関わらず高齢者を支えています。親は子、子は孫へと、単に長生きするのではなく、元気で長生き出来ることが、巡りめぐって次の世代の幸せに繋がることを、私たちは重く受け止め、そこにワイズメンズとしての奉仕の手立てを創り出したいと考えます。

さらにもう一点。新しい活動を推し進めるには、仲間が増えることは必須です。発足間もない我々には、まだまだワイズのダイナミックな活動について、部外の方々へ説明をする十分な知識や経験を持っていません。難しいのは言葉で理解することが出来ても、心から共感し、自分の誠意と熱意を持って伝えられるか否か、自問自答しているのが現状で、その先につながる勉強を必要としています。また残念ながら拠点となるYMCAが遠く、この2年間は一輪車で走って来た感じが否めず、ユースや職員の方々と喜びを分かち合う機会も十分であったとは言えません。これらの一つ一つを解決していくために、関係者の方々のお力をお借りして一年を過ごしたいと考えています。

新クラブ創り

エクステンション委員長 太田 勝人 (東京世田谷)



先期伊藤直前部長の時に立ち上げた表題のプロジェクトについて、東新部の皆様には「評議会」その他会合を活用して進展状況をお知らせし、ご理解、ご協力を得ることをして参りました。

今期もその流れを継続して、神保部長、伊丹書記、村野会員増強事業主査にご報告しながら、「種まきから刈り取り＝新クラブ創設」が出来るよう、以下の点を実行します；

1. 「(仮) 東京町田地域ワイズメンズクラブ」

東新部役員の皆様、東京コスモスクラブの松香実行委員長はじめ役員の皆様等のご支援、ご協力を得て、現在「準備例会2回目」を終えたところです。

今後も毎月1回会合を開いて、入会候補者の広がりとう入会への同意を得る努力を継続して参ります。

またスポンサークラブとして、東京町田コスモスクラブ、東京クラブ、厚木クラブがお引き受けくださり、感謝に耐えません。心からお礼申し上げます。

今年の秋口にはチャーターナイトを迎えられるよう関係者一同張り切っていますので、どうかご支援下さいませお願い申し上げます。

2. 「(仮) 東京新宿地域ワイズメンズクラブ」

6月5日に東京YMCA山手センターの星住担当主任から、YMCAの会員でありますはまだワイズに入会していない方3名をご紹介をいただきました。

山手センターの活動委員会のメンバーでワイズの活動についても理解があり、「核」となっていただけそうだと思います、資料を揃えてワイズの理念、目的、CS活動など、プレゼンテーションを致しました。

今後新宿地域を中心に広く候補者を発掘し、新クラブ創設に向かって着実に進めていく覚悟であります。皆様、ご協力頂けますようお願い申し上げます。



エクステンション委員会の経過報告

1. 「(仮) 東京町田地域ワイズメンズクラブ」

「第1回 設立発起人会」を開催

2017年9月6日 松香宅。クラブ名称を「(仮) 東京町田地域ワイズメンズクラブ」とする

「第2回 設立発起人会」を開催

2017年10月4日 松香宅。設立趣意書を検討。

「第1回 設立準備会」を開催

2017年11月6日 松香宅。スポンサークラブ検討、メンバー候補者推薦名簿の作成。

「第2回 設立準備会」を開催

2017年12月6日 松香宅。設立趣意書を決定。22名の候補者リストを作成。

「第3回 設立準備会」を開催

2018年1月17日 松香宅。候補者への打診結果持ち寄り。

「第4回 設立準備会」を開催

2018年2月21日 まちだ中央公民館・学習室。東京・厚木クラブへスポンサークラブ依頼。

「第5回 設立準備会」を開催

2018年3月15日 松香宅。第1回仮例会に向けての準備作業。パンフレット類の確認。

「第1回 仮例会」を開催

2018年4月18日 まちだ中央公民館・学習室。新入会ゲスト3名出席。ワイズ・YMCAの紹介。

「第2回 仮例会」を開催

2018年5月16日 まちだ中央公民館・美術工芸室。新入会ゲスト2名出席。震災復興支援の紹介。

「第3回 仮例会」を開催【写真左下＝仮例会の様子】

2018年6月20日 まちだ中央公民館・和室。新入会ゲスト5名出席。町田YMCAの活動紹介。

以後、第3水曜日に仮例会を予定している。

2. 「(仮) 東京新宿地域ワイズメンズクラブ」

①太田エクステンション委員長が、早稲田教会・古賀博牧師、早稲田奉仕園・阿部千秋専務理事と面会。

②山手学舎OB、東京YMCA山手センタースタッフなどから人脈をリサーチ。

3. 「(仮) 新潟ワイズメンズクラブ」

①太田委員長が2度にわたり新潟を訪問。

②信越妙高クラブ福澤会長の人脈、和歌山クラブ神谷氏の人脈、長野クラブ湯田氏の人脈、信越妙高クラブ村上郵便局長の人脈などをリサーチするも、困難な状況なので、ひとまず活動を休止する。

2018-2019 東新部 予算

2018-2019 年度の東新部予算案は、前期第 3 回評議会において承認されましたが、期首(2018.7.1)の半年報の人数により、第 1 回東新部評議会で修正が加えられます。

1. 経常会計

【収入の部】

科 目	2017-2018予算	2018-2019予算	備 考
前年度繰越金	0	0	
部費	295,200	280,800	78名で算定
クラブリーダーズフォーラム負担金	80,000	60,000	6クラブ・各クラブ1万円負担
東日本区事業補助金	145,000	142,000	10万円+500円×84名
その他収入・寄付金	0	0	
合 計	520,200	482,800	

【支出の部】

科 目	2017-2018予算	2018-2019予算	備 考
リーダーズフォーラム負担金	160,000	120,000	6クラブ・各クラブ2万円負担
部長活動補助費	24,000	24,000	
部役員活動補助費	30,000	28,000	
部大会関連事業費	80,000	100,000	部大会・新クラブ祝会同時開催
評議会・役員会費	40,000	50,000	
事務費	5,000	5,000	
コピー・印刷費	5,000	20,000	
通信費	5,000	5,000	
部報作成費	5,000	30,000	
広報費	24,000	20,000	
STEP派遣支援費	0	0	
BF代表等受入費	10,000	10,000	
セミナー等研修運営費	10,000	15,000	
ユースコンボケーション支援金	10,000	10,000	
信越妙高クラブ交通費補助	54,000	0	2018.6.30クラブ解散
信越妙高クラブ訪問交通費補助	42,000	0	2018.6.30クラブ解散
表彰費	10,000	15,000	
寄付金・雑費	0	1,000	
予備費	5,000	29,800	
次期繰越金	1,200	0	
合 計	520,200	482,800	

2. 特別会計(東新ファンド)

【収入の部】

科 目	2017-2018予算	2018-2019予算	備 考
前年度繰越金	651,129	692,129	
CS資金収入	102,500	97,500	一人当たり1,250円78人
ASF資金収入	20,500	19,500	一人当たり250円78人
合 計	774,129	809,129	

【支出の部】

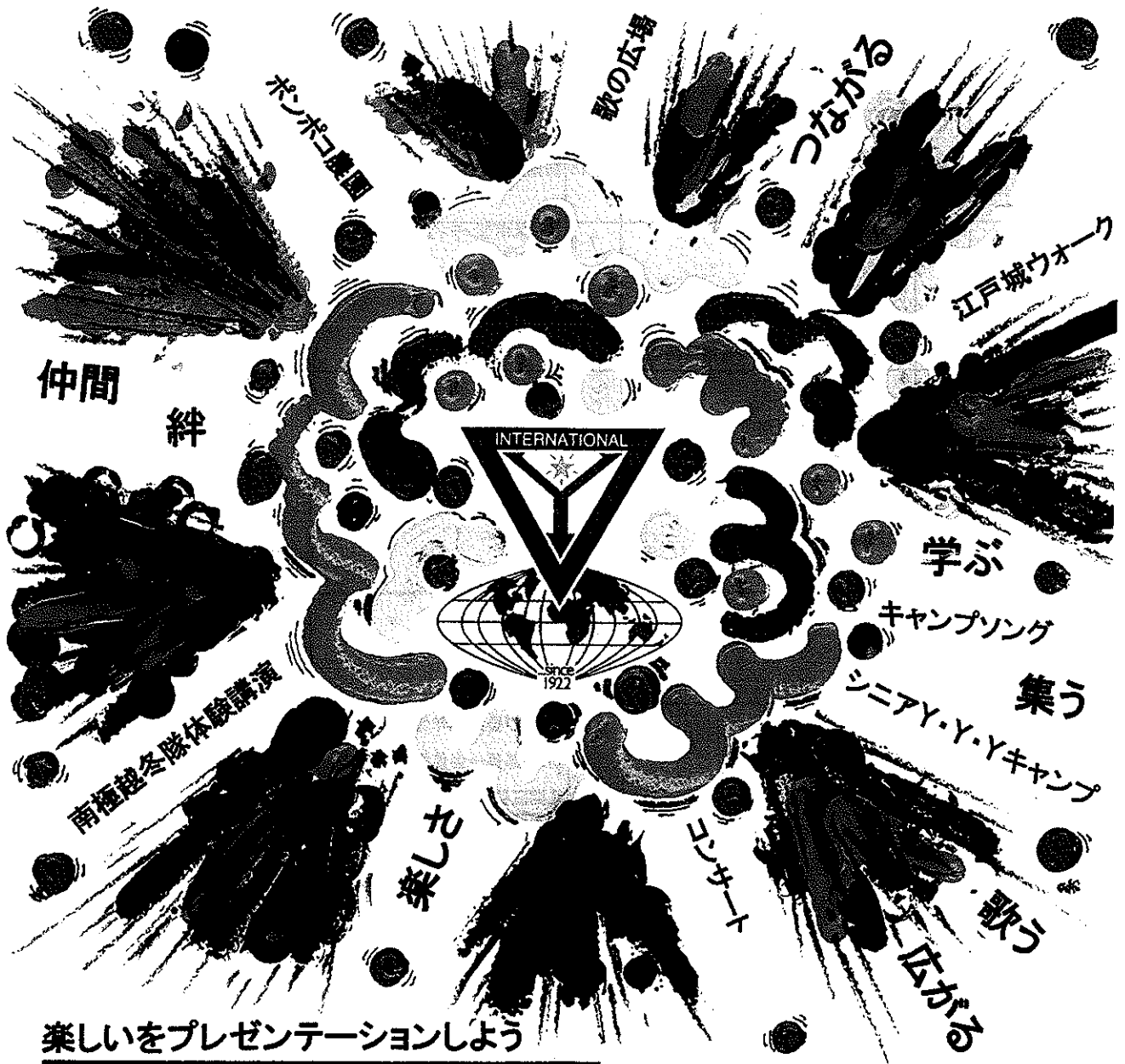
科 目	2017-2018予算	2018-2019予算	備 考
新クラブ設立準備金	50,000	50,000	
CS事業	50,000	50,000	
ASF事業	40,000	20,000	6名担当主事
クラブ入会費補助	60,000	72,000	一人当たり6,000円
その他事業	0	100,000	東新部20周年記念誌
予備費(次期繰越金)	574,129	517,129	
合 計	774,129	809,129	

2018-2019 東新部・東日本区・他 行事予定表

年月	強調月間	東新部行事・報告・送金	東日本区行事・報告・送金	各部・西日本区・国際等	
2018	6	15 部報1号原稿締め切り	2-3 第21回東日本区大会(沼津)	9-10 西日本区大会(神戸)	
	7	キックオフ YMCAサービス	部長公式訪問 1 部報1号発行	7 第1回役員会 10 各クラブ前期半年報部長提出	
		ASF	11 第1回役員会(東陽町センター)	15 同上(部長→会員増強主任)	
		RBM	14 第1回評議会(西早稲田・東京Y本部)	31 前期区費請求書発送	
			15 部費・YVLF負担金請求書発送		
	8	CS	31 部費・YVLF負担金納期	15 前期区費納期	6-12 IYC(韓国・麗水) 9-12 国際大会(韓国・麗水) 25 北海道部大会
	9	ユース	30 次々期部長・監事候補者推薦締切	7-9 ユースボランティア・リーダーズフォーラム 臨時代議員会(郵送)	15 湘南・沖縄部大会 22 北東部大会 29 関東東部大会 30 富士山部大会
		EMC/E YES	13 東新部部大会(東陽町 社体・保専)	27 次期部長・事業主任研修会	13 東新部部大会 20 あずさ部大会
	11	ワイズ理解 ファミリーファスト	7 第2回役員会 17 第2回評議会	10 第2回役員会 10 ワイズデー	23-25 日本YMCA大会
	12	EMC/M		8 祈りの輪	7-9 エリアRDEトレーニング 9-10 アジア太平洋地域年央会議
	2019	1	IBC/DBC	10 各クラブ後期半年報部長提出 15 同上(部長→会員増強主任) 31 後期区費請求書発送	15 国際役員投票スイス必着 31 次期部役員・クラブ会長報告(次期部長→区)
		2	TOF	部長・役員会公式訪問 16 EMCシンポジウム 次期クラブ役員公表発表	15 後期区費納期 15 各種献金納期(クラブ→部) 28 各種献金納期(部→区)
3		BF メネット	16 東新部次期役員準備会②	2-3 次期クラブ会長・部役員研修会 8 代議員会告示	
4		LT	10 第3回役員会 20 第3回評議会・次期クラブ役員研修会	5 代議員会議案締切 6-7 第3回役員会(現・次期合同)	東西理事連絡会議
5		EF/JEF	18 東新部事業・運営引継会 東新部クラブ事業評価会	1 代議員会議案送付 15 JEFエントリー締め切り 31 第4回役員会(東京)	
6		評価		1 代議員会(東京) 1-2 第22回東日本区大会(東京)	15-16 日本YMCA同盟協議会 22-23 西日本区大会
7			15 部報2号原稿締め切り 31 部報2号発行	次年度役員会	19-21 アジア太平洋地域大会(仙台)

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

第22回東新部部大会



楽しいをプレゼンテーションしよう

日時 2018年10月13日(土)
13:00~17:00

みつかる。つながる。よくなっていく。

場所 東京YMCA 社会体育
保育専門学校 (東陽町)

ワイズの楽しみは、今、そしてこれから
—JOIN US!—

参加費 3,000円
ゲスト参加者：無料
いっぱい招待しよう

2018-2019 東新部部大会実行委員会
部長 神保伊和雄
部大会実行委員長 松香 光夫